

日本地学教育学会 2022年度 第5回 常務委員会 議事録

日 時：2023年5月31日（金）18時00分～20時15分

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者：川村教一，伊藤 孝，藤岡達也，上栗伸一，澤口 隆，清水正義，菅原久誠，高橋 修，中林俊明，西浦慎悟，平田豊誠，廣木義久，藤原 靖，吉本直弘，米澤正弘（計15名）

議 題：

1. 前回（2022年度第4回）議事録の確認

2. 滋賀大会の準備状況について（藤岡）

第二次案内が提案され，了承された。

3. 全国大会優秀賞規約（案）について（吉本）

日本地学教育学会若手優秀発表賞および日本地学教育学会ジュニアポスター優秀賞の規約案についてメール会議での審議の結果を受けて，了承を確認した。各賞の位置付けについて庶務担当常務委員が確認することとした。

4. 2024年度全国大会開催地について（吉本）

川村会長より2024年度，2025年度の全国大会の各開催地について，関係会員に打診中であることが報告された。各都道府県における会員数を踏まえ，全国大会を継続して開催していくために，大会実行委員会の組織や大会運営のあり方について常務委員会や評議員会で検討していくこととした。

5. 役員候補者の推薦について他（宮下：澤口代）

1) 役員候補者の推薦について（結果）

2) 監事の推薦（審議）

3) 役員選挙の実施について

役員候補者の推薦の結果を確認するとともに，監事候補者の推薦について審議し，了承された。また，役員選挙の実施の方法やスケジュールを確認した。

6. 役員の人数や業務分掌について（吉本・川村）

会則では各支部に設けることになっている支部長が不在となっている問題について議論した。会員数が少ない支部では，支部長となる会員に大きな負担が生じる可能性があること，支部長の選出によって支部活動の活性化が期待されることなどの意見が出された。この問

題については、各支部の評議員で構成される評議員会での審議が適当との結論に達した。

7. 優秀論文賞・若手学術賞について（上栗）

2022年度日本地学教育学会学会賞・学術奨励賞の審査委員会（審査委員長：境 智洋評議員）による選考結果が報告され、候補者3名の受賞について了承された。

【優秀論文賞】

受賞者：三次徳二会員

論文名：川原の実物大写真と石の標本を組み合わせた教材の有効性の検証 -小学校理科「流水の働き」における川の野外観察の代替措置として-

掲載巻号：『地学教育』第74巻第2号

【若手学術賞】

受賞者：武永有岐子会員

論文名：火成活動を通時的に理解するための中学校理科の探究的学習プログラムの開発 - 単元計画の工夫と生徒実験を活用したW型問題解決モデルの適用-

掲載巻号：『地学教育』第74巻第2号

受賞者：平川尚毅会員

論文名：市販の隕石を用いた太陽系の学習教材の開発

掲載巻号：『地学教育』第74巻第3-4号

8. 『地学教育』超過ページ料金改定のお知らせ（案）（上栗）

継続審議となっていた『地学教育』超過ページ料金改定のお知らせ（案）の文面を確認し、了承された。J-STAGEの電子付録機能の導入については継続審議とした。

9. 地学オリンピックに関するシンポジウム（8/6）後援依頼（澤口）

NPO法人地学オリンピック日本委員会より依頼された、地学オリンピックに関するシンポジウムへの本学会の後援について了承された。

10. 海外研修案について（川村）

2023年12月の開催を計画しているタイ国サトゥン・ユネスコ世界ジオパークへの海外研修の第一次案内が提案され、了承された。

11. 会勢および会計について（中林）

入会者は0名、退会者は1機関であった。

*正会員 402, 購読有料会員 22, 購読無料会員 23, 学生 8, 在外 0, シニア会員 71, 名誉 3:合計 529.

『地学教育』掲載論文の超過ページ料金の請求状況について報告された。

12. 国際文献社との業務委託契約について（吉本）

業務委託契約および覚書を確認し，学会誌の編集について業務の委託内容を明確化する方向で文面を検討することとした。

13. その他

伊藤 孝副会長より『地学教育』の J-STAGE での公開のあり方について引き続き検討を進めていくとの報告がされた。

報 告：

1. 各種委員会報告

1) 地学教育編集委員会（上栗）

論文の審査状況ならびに『地学教育』第 76 巻第 1-2 号の発行準備状況について報告された。

2) みんなの地学編集委員会（廣木）

『みんなの地学』第 4 号の編集状況および発行予定時期について報告された。

2. 第 27 回 教科「理科」関連学会協議会 CSERS シンポジウムについて（高橋）

理科教育の現状と課題について活発に議論されたと報告された。

3. 小学校理科地球領域の改善に関するシンポジウム企画案について（川村）

基調講演および教育実践報告を含むプログラム案について報告された。

4. その他

川村会長より『地学教育』の「IX GeoSciEd2022 島根大会」特集の企画について，準備状況が報告された。